2019年7月16日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、インド「ウガム社」買収により、米国等のグローバル企業に対して データアナリティクス領域におけるオフショアサービスを強化

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746 億 981 万円）は、海外本社「電通イージス・ネットワーク」*を通じて、インドのデータ分析会社「Ugam Solutions Private Limited」（本社：ムンバイ市、共同創業者兼 CEO：Sunil Mirani、以下「ウガム社」）の株式 87%を取得すること、および今後完全子会社化するオプションを当社グループが有することにつき、同社株主と合意しました。

ウガム社は、2000年にインドで設立されて以来、調査分析、小売分析、顧客のIT導入支援、Eコマースのコンテンツ最適化等に強みを持つ、有力なデータ分析会社として成長を遂げてきました。現在では米国、オーストラリアにも拠点を構え、約1,800名の従業員が米国等のグローバル企業に対して、データアナリティクス領域におけるオフショアサービスをインドから提供しています。その顧客企業はB2B企業からB2C企業まで幅広く、フォーチュン500社のうち75超の企業と長期的なビジネス関係を築いています。

本件買収の目的は、当社グループのグローバルネットワーク・ブランドの1つで、テクノロジーを活用したデータ分析に強みを持つデータマーケティング会社「Merkle」（マークル、本拠地：米国メリーランド州）の事業規模の拡大と、当社グループにおけるオフショアの分析サービス機能を強化することにあります。今後当社は、ウガム社のブランド呼称を「Ugam, a Merkle Company」（ウガム・ア・マークル・カンパニー）へと改称し、マークルに新たなデータ分析能力を付加することで、より競争力の高いデータマーケティングサービスを提供していきます。

なお、本件が当社の2019年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

*電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク」（ロンドン）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Brand Agencies）、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【ウガム社の概要】

正 式 社 名 : Ugam Solutions Private Limited (ウガム社)

本 社 所 在 地 : インド・ムンバイ市 (インド 3 都市、米国、オーストラリアにも拠点を持つ)

設 立 : 2000 年 7 月

株 主 構 成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 87%

収 益 (Revenue) : 36 億 8500 万インドルピー (約 58.9 億円) (2019 年 3 月期)

代 表 者 : Sunil Mirani (Co-Founder and CEO)

従 業 員 数 : 1,838 名

事 業 内 容 : データアナリティクス領域におけるオフショアサービス等を提供

以 上